

補聴器の購入費助成を求める請願の採択にご協力をお願い

前略 日頃より町田市政について、ご尽力されて下さることに、心から感謝と敬意を申し上げます。町田市でも補聴器の購入費助成の予算がいよいよ盛り込まれましたことは、聞こえのフレイル対策に大いに役立ち、私たち市民にとって大変喜ばしいこと存じます。

この度、補聴器の購入費助成の請願について3月27日の本会議で採決が行われます。つきましては、当会が7年・6回の請願を行なってきた経緯や市民の声などを下記により報告させていただきます。ぜひ、採択にご協力くださいますよう、心よりお願い申し上げます。 草々

記

1) 2019年に最初の「補聴器の請願」を行いました

- 19年11月に「国及び東京都に対し『加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める意見書』の提出を求める請願」を行い、不採択となりました。
- 20年11月「高齢者の補聴器購入費用の助成を求める請願」を提出。21年12月の請願は、委員会で「国の動きもあるようだ」「専門技師と支援体制も検討する」と継続審査になりましたが、2月に市議会議員選挙があり、事実上廃案になりました。

2) 町田医師会や耳鼻咽喉科会、老人会連合会など多くの市民に協力要請

- 23年7月に町田医師会に、8月には医師会長に請願の協力要請を行いました。
- また、耳鼻咽喉科会を訪問し、協力要請を行い、「立場の違いはありますが、市民の皆様の健康やQOL維持を願う気持ちは同じです。皆様の要望が叶いますよう、当方も行政への働きかけを継続して参ります」との回答も頂きました。
- 老人会連合会では聞こえを改善する補聴器のリーフなどの説明と協力要請を行いました。
- 23年9月の請願署名は地域の人たちや老人会連合会のご協力もあり、1817筆になり委員会で採択されました。しかし、本会議では14対21不採択になりました。

3) 購入費助成のシール投票で「賛成：93人」「必要ない：2人」

- 24年3月には、木曽山崎センター祭において補聴器の購入費助成についてシール投票を行いました。結果は、助成に「賛成」が93人、「必要ない」が2人でした。投票された1人は「私の補聴器は片耳42万円です。ぜひ助成制度を」と話されました。

4) 6月の本会議の採決で、17対17に迫る

- 24年6月の請願は、健康福祉常任委員会の委員長判断で採択されました。本議会で健康診査の聴力検査を時期尚早とする反対討論もありました。採決は17対17の同数に迫りましたが、議長の反対で不採択になりました。

5) 24年8月、第6回目の請願書を提出／9月継続～12月再継続～3月へ

- 8月27日に「加齢性難聴者の補聴器購入の助成を早期に求める請願」を各会派に協力を要請し、請願書を提出しました。9月10日の健康福祉常任委員会では継続審議となりました。さらに12月の委員会でも再継続審査となり3月議会に送られました。

○25年3月10日、健康福祉常任委員会では、補聴器の購入費助成を含む予算が承認され補聴器の請願の審議に入りました。市の報告によれば「啓発・早期発見・早期受診・対応・補聴器の利用が必要で、購入費の助成だけでは不十分で、市の意向に沿わない」として、市の説明は、当会の請願が市の「意向と一致しない」かのような説明がされました。

○これを受けて、委員から「請願は、購入費の助成だけでは不十分で賛成できないから、継続審査にしたい」との発言があり、他の委員からは「請願は市の考えとは一致しているものであり市の総合的な対応を請願書に全て網羅することを市民に求めることは困難ではないか。採決をお願いしたい」との発言があり、採決となって、賛成少数で請願は否決されました。直近の2回の委員会では、賛成多数でしたのに残念でした。

6) 請願文に、市の一連の施策を網羅しきるのは、市民には困難では？

○請願は「高額な補聴器の購入助成」を求める市民の切実な声を届けたものであります。補聴器購入費の助成予算に賛成と合わせて、それを求めた請願にも、ぜひ賛成していただきたいと存じます。市の諸施策に関連して請願書では「請願趣旨」において「町田市が補聴器の購入助成を実施する場合、補聴器購入希望の高齢者は、まず耳鼻咽喉科を受診し「補聴器相談医」の診察を受け、(中略)医師意見書を持って～補聴器専門店に～補聴器の調整を受けるよう、市が指導することを要望します。」など、必要な措置等についても記述しています。

○請願項目は、実際の施策と齟齬のないよう、出来るだけシンプルにせざるを得ないものです。

7) 「請願」は市民の大切な権利です。予算と併せて補聴器請願の採択を

○私たち「町田の国保・医療をよくする市民の会」は、すでに述べたとおり、この7年間6回の請願を行い、各会派に毎回の協力をお願いし、医師会や耳鼻咽喉科会、市民団体を訪問し、市民の声を聞いて署名活動やシール投票などを行ってきました。

○3月27日の本会議には請願の採択に、ぜひご協力を宜しくお願いします。市民の切実な声を聞いて頂き、市民の要求を、市民と共に解決する市政を育てて頂きたいと思います。

(参考) 突発性難聴になって補聴器を購入した80代の高齢者の手記



私は1昨年の11月頃から左の耳鳴りが酷くなりました。ネット・YouTubeなどで耳鳴り治療の情報も得て、スマホに聴力アプリを入れ測定すると左耳の聞こえが悪くなっており、指定医の耳鼻咽喉科で検査をして頂いたところ、「突発性の難聴」との診断を受けました。

当医院から投薬等の治療を受けましたが、難聴も耳鳴りも治らないことから昨年の3月に医師の紹介状を貰い指定の補聴器店に行き、補聴器の相談をしたところ、一番安いものが片耳10万円で電池式(電池の寿命は約1週間)のものです。蓄電池式(毎晩充電)の一番安いものが片耳で20万円(充電器付き)、両耳で35万円でした。私は10万円以上で一定のレベルのものが購入できると聞いていたので、10万円のものを両耳に使用しています。補聴器をつけたことで、耳鳴りは自然に治り、少人数の会話であれば、聞こえの支障が殆ど改善されました。

両耳で20万円は高いと思いましたが、補聴器店に最初は週1で通い点検・清掃・調整を受け、2週1～月1となり現在は2ヶ月に1回で、すべて無料ですから成る程とも思います。ただ、毎日、補聴器を外した後は小さな電池を外し、清掃して乾燥機に入れるなどで、高額な上に手間がかかるものですから、高齢で低所得の人は、買わずに諦めてしまう人も少なくありません。

この度、市議会の補聴器の購入費補助の予算が提案されたことを知りました。私は、課税世帯で、今回は補助金の対象になりませんが、5年後の買い替えの時は期待したいと思っています。